

# みんなのなりた

NO. 93 2018年11月1日

発行／成田市議会  
編集／成田市議会広報広聴委員会  
〒286-8585 成田市花崎町760  
Tel 0476-20-1570(直通)  
Fax 0476-24-0336

平成 30 年 9 月定例会



## 主な内容

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 2 9月定例会ハイライト | 8 一般質問             |
| 3 委員会審査レポート  | 14 議員研修会報告         |
| 4 決算特別委員会    | 15 市議会フォーカス[特別委員会] |
| 7 議案と審議結果一覧  | 16 議会報告開催のお知らせ     |

### 「議会報告会を開催します」

11月3日(土)に議会報告会を開催します。当日は意見交換も行います。議員一同、皆さんの参加をお待ちしています。

⇒詳しくは裏表紙へ

# 成田市議会からのメッセージ

定例会審議から、くらしにかかわる可決議案、報告などをピックアップします

## 9月定例会ハイライト

## 決算議案を含む 26議案を可決・同意・認定

### 平成30年度一般会計補正予算、 市有財産の無償貸付けなど

平成30年9月定例会は、8月31日に招集され9月27日まで28日間の会期で開かれました。定例会の初日には、24議案が上程されました。

9月4日には、決算関係議案を審査する決算特別委員会が設置されました。

一般質問は、9月4日から4日間、18人の議員が登壇して行われ、7日には人事関連議案4件を同意しました。10日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案20件および一般会計補正予算に対する付帯決議など発議案2件を原案どおり可決・認定し、閉会しました。

【9月定例会の日程】

月日	内容
8月31日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
9月 4日(火)	本会議(一般質問)、決算特別委員会
5日(水)	本会議(一般質問)
6日(木)	本会議(一般質問)
7日(金)	本会議(一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託)
10日(月)	経済環境常任委員会、 新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会
11日(火)	建設水道常任委員会、空港対策特別委員会
12日(水)	教育民生常任委員会
13日(木)	総務常任委員会
18日(火)	決算特別委員会
19日(水)	決算特別委員会
20日(木)	決算特別委員会
21日(金)	総務常任委員会
27日(木)	本会議(会議録署名議員指名、議案審議、閉会)

## 一般会計補正予算に対する付帯決議を可決

一般会計補正予算に対する付帯決議が提出され、可決されました。

補正予算では、中台運動公園水泳プール改修に係る事業費の大幅な増額が示されましたが、完成後40年以上が経過している現状から改修工事の必要性は理解するものの、5億円を超える増額補正に至った経過については疑問を持つものであり、成田市議会として、今後の事業の執行に当たっての意思表示をしたものです。

### 付帯決議とは

議決に当たり、その案件に付随的に付けられる意見や要望の決議のことです。市長等に、その内容を尊重する政治的・道義的な責務を負わせるにとどまり、法的な拘束力は有しません。

### 付帯決議の主な内容

1. 今後、執行機関の過誤による増額補正を提案することのないよう、計画性を持って執行すること。
2. 今回の増額補正額は、市民納税者の重い負担を生じさせるものであることを十分認識した上で、真に市民のために必要な改修工事となるよう、より最適な改修を進めること。

改修が予定される中台運動公園水泳プール



## 国等に意見書を提出

9月定例会では、議員から提出された議案(発議案)を可決し、国および関係行政機関に意見書を提出しました。提出した意見書は次のとおりです。

■東海第二原発の再稼働および運転期間延長を認めないことを求める意見書

# 委員会審査レポート



※本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要および報告された内容の一部を要約して紹介します。

## 総務常任委員会

### 一般会計補正予算、市有財産の無償貸付け

議案4件をいずれも可決しました。所管事務について4件の報告を受けました。

一般会計補正予算のうち中台運動公園水泳プール改修事業に係る継続費の補正は、事業費の総額、期間および年割額を変更するものです。増額約5億円の内訳、当初予算の積算、改修工事に当たっての基本構想や基本設計の策定、将来的なプールの位置付け、アイルランドパラリンピック委員会と締結した覚書の内容、議会に対する速やかな状況報告、今後の対策についての考えなど多くの質疑がありました。補正予算案に対しては修正案が提出されましたが否決され、議案は可決となりましたが、付帯決議が提出され、全会一致で可決しました。

また、市有財産の無償貸し付けは、旧久住第二小学校の跡地を有効に活用するため、公募により選定した事業者が旅館業法に基づく簡易宿所営業を行うに当たり、無償で貸し付けるものです。

## 経済環境常任委員会

### JR成田駅前「成田からくり時計」の寄贈、アイルランドパラリンピック委員会への訪問の報告

所管事務について6件の報告を受けました。

成田に思い入れのある篤志家から、成田山新勝寺の開基1080年祭にあわせ、JR成田駅前に成田らしさを演出したからくり時計の寄贈を受けました。名称は「成田からくり時計」とし、JR成田駅参道口の駅前広場に設置されます。完成後には新たなランドマークとして活用し、さらなる観光客誘致につなげていきたいとのことでした。

また、8月13日から19日にかけてアイルランドパラリンピック委員会を訪問した概要の報告がありました。



寄贈された成田からくり時計

## 委員会で審査された陳情

▶ 成田市立幼稚園及び小中学校の給食費無料化に関する陳情 不採択（教育民生常任委員会）

## 教育民生常任委員会

### 支所設置条例の一部改正、保育所設置条例の一部改正、西部西地域包括支援センターの開設

議案4件をいずれも可決し、陳情1件を不採択としました。所管事務について4件の報告を受けました。

建築から47年が経過し、施設の老朽化が著しい大栄支所を、近接する保健福祉館大栄分館に移転し、平成31年1月4日から支所業務を開始します。

玉造保育園の老朽化に伴う大規模改修工事が完了し、定員が150人から190人に増員されます。また、成田ニュータウン内保育園5園の大規模改修事業が完了したことに伴い、赤坂保育園に休所する保育園の代替施設としての位置付けがなくなります。

なお、赤坂保育園は存続し、引き続き園児の受け入れが行われます。

はなのき台を除く公津地区を担当地域とする西部西地域包括支援センターが新たに開設されます。



改修された玉造保育園を視察

## 建設水道常任委員会

### 市道路線の認定、景観計画の変更

議案1件を可決しました。所管事務について2件の報告を受けました。

市道路線として認定する松崎湯川4号線用地については、JR線は既に移設工事が完了した線路で運行を開始しており、移設により使われなくなった旧線路用地の盛り土等をJR千葉支社が撤去中で、10月下旬には更地となる予定です。現在、工事発注に係る事務手続きを進めており、11月頃から工事に着手し、年度末には供用を開始したいと考えているとのことでした。

景観計画について、景観形成重点地区における計画の一部を変更し、太陽光発電設備のパネルは、全て届け出の対象とし、開発行為の場合および屋外に土石、再生資源などの物件を堆積させる場合は、区域面積が500平方メートル以上で届け出の対象としました。



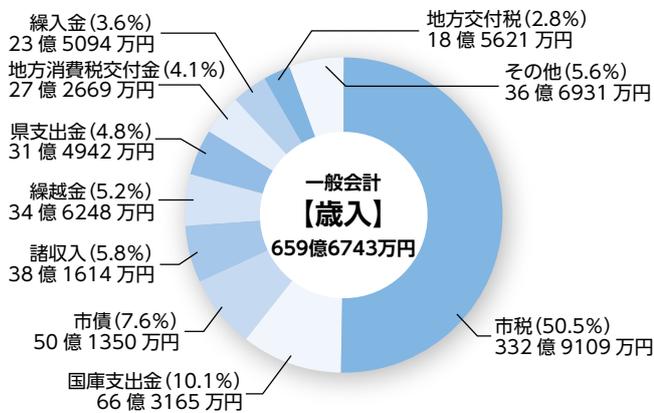
# 委員会審

## 決算特別委員会

### 平成29年度決算を可決および認定

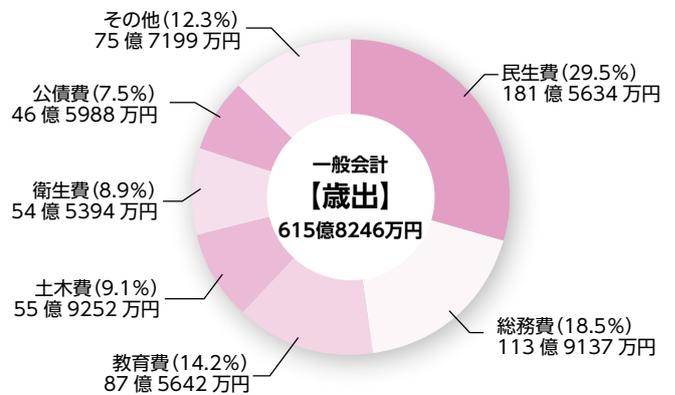
9月定例会では、平成29年度決算関係9議案を審査するための決算特別委員会(委員12人)が、9月4日に設置され、18日から20日までの3日間にわたり審査を行い、いずれも原案のとおり可決および認定しました。

<b>委員長</b>	村嶋 照等	<b>委員</b>	荒川さくら	飯島 照明	神崎 勝	小山 昭
<b>副委員長</b>	星野慎太郎		小澤 孝一	荒木 博	神崎 利一	油田 清
			宇都宮高明	大倉富重雄		



#### 一般会計【歳入】 主な内訳

予算現額674億3,194万3,995円に対し、決算額は659億6,743万4,393円、前年度比で2.4%のプラスです。市税は、全体で平成28年度と比較し7億4,047万6,257円の増、割合で2.3%のプラスで、個人市民税および法人市民税は景気の緩やかな回復などによる増収、固定資産税は新築および増築された家屋に対する新規課税に加え、償却資産における新規課税客体の把握や企業の設備投資の増加などでそれぞれ増額となっています。



#### 一般会計【歳出】 主な事業

カッコ内は決算額  
 国家戦略特区推進事業(17億9,352万円)、航空機騒音地域補助事業(1億5,954万2,000円)、保育士確保・処遇改善促進事業(4,150万7,000円)、病児・病後児保育施設整備費補助事業(3,423万円)、いずみ清掃工場解体・ストックヤード整備事業(4億418万円)、強い農業づくり支援対策事業(5億6,494万8,000円)、消防団車両・装備強化整備事業(3,778万2,000円)、小学校大規模改造事業(5億9,492万8,000円)、運動公園等整備事業(3億7,239万3,000円)、豊住ふれあい健康館管理事業(1,936万5,000円)。

### 平成29年度成田市一般会計および特別会計決算額

会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	659億6,743万円	615億8,246万円	43億8,497万円
国民健康保険(事業勘定)	152億8,571万円	147億234万円	5億8,336万円
国民健康保険(施設勘定)	1億5,582万円	1億4,805万円	777万円
下水道事業	24億5,792万円	22億9,283万円	1億6,509万円
公設地方卸売市場	8億156万円	7億9,149万円	1,008万円
介護保険	67億4,066万円	64億8,949万円	2億5,117万円
農業集落排水事業	1億7,238万円	1億6,916万円	322万円
後期高齢者医療	9億9,608万円	9億7,387万円	2,221万円
合計	925億7,757万円	871億4,970万円	54億2,787万円

### 公営企業会計決算額

会計名	区分	収入	支出
水道事業会計	収益的収支	20億3,108万円	19億306万円
	資本的収支	4億2,935万円	9億9,349万円
簡易水道事業特別会計	収益的収支	3億3,133万円	3億3,025万円
	資本的収支	870万円	1億2,015万円

※数値は万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳、パーセンテージが一致しない箇所があります。

# 査レポート

※本会議で委員会に付託された  
主な議案と審査内容の一部を  
要約して紹介します。

決算をCheck!

## 主な質疑

**平成28年度決算や当初予算と比べて、個人市民税の所得割が増えている理由は**

**答弁** 景気の緩やかな回復により個人所得が増加したこと、就労意欲や社会貢献意欲の高い高齢者の増加や女性の社会進出などによりこれまで非課税であった方が課税者になったと考えられることが挙げられる。



**保育士確保・処遇改善推進事業として、成田市は、他に先駆けて「なりた手当」を始めたが、保育士の受け止めと効果は**

**答弁** 平成29年度に「なりた手当」を支給した222名の私立保育園の保育士に対し、アンケート調査を実施したところ、回答のあった保育士の93%から「保育士の処遇改善に有意義であった」という回答を得た。また、76%の保育士から「今後も成田市で働こうという意欲の向上につながった」との回答があり、保育士の確保や離職防止に一定の効果があったと考えている。



**個人番号カード等交付事業について、実施状況と課題は**

**答弁** 平成29年度の交付枚数は2,999枚、平成28年1月の交付開始からの累計では1万5,897枚で、人口に対する交付率は12.01%である。個人番号カードは、証明書のコンビニ交付など、行政手続きの利便性の向上の観点から普及、啓発に努めているが、引き続き市民に周知していくことが課題だと考えている。



**障がい者雇用推進事業における「チャレンジオフィスなりた」の実績は**

**答弁** 就労を目指す障がい者2名を非常勤職員として採用し、庁内各課から依頼のあった郵送物の封入や計画書等の印刷の事務に加え、民間企業での実習などを行った。結果として、千葉市内の農園とエアライン関連の特例子会社に、4月から、それぞれ採用されている。現在2名とも継続して勤務しており、事業所と連携して、ジョブコーチ<sup>(注1)</sup>や職員の訪問による状況調査等を行いながら、就労定着に向けた支援を続けている。

**農産物消費宣伝事業における成田市産特産物の宣伝の方法とその効果は**

**答弁** 講習会の開催費や材料費の一部を補助すること、また、成田市産農産物をイベント等の際に来場者へ配布することで、知名度の向上と、ブランド産物としての位置づけの確保が図られている。また、生産者団体等によるパンフレットの作成など消費宣伝活動に要する費用の一部を補助することで、消費宣伝活動が、より一層、活性化され、成田市産農産物の知名度の向上に結び付いていると考える。



**公債費負担比率について、NARITAみらいプランの第3次実施計画では、2020年度に13.8%になると見込んでいるが、警戒ラインである15%に届きそうになっていることをどう考えているか**

**答弁** 公債費負担比率については、実施計画のローリングを通じ、比率が危険水域に近づかないよう事業の精査を行い、財政の健全性を保っていく。



(注1)ジョブコーチ…障がい者の就労に当たり、できることとできないことを事業所に伝達するなど、障がい者が円滑に就労できるように職場内外の支援環境を整える者



# 委員会審査レポート

※本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要および報告された内容の一部を要約して紹介します。

## 空港対策特別委員会

### 成田空港のさらなる機能強化に係る内窓設置工事等の防音工事、内窓設置工事等に伴う市の新規事業等

#### ●内窓設置工事等の防音工事

内窓設置事業は、寝室の現状の窓の内側に、さらに防音サッシを設置するもので、寝室の壁・天井工事が行われていない場合には、壁・天井の補完工事を行うことで、防音効果を高めるものです。対象エリアは、騒特法のA滑走路側の防止地区内で、対象世帯数は成田市では約470世帯、事業開始日は10月1日で、同日に所在する住宅が対象となります。なお、B、C滑走路や谷間地域は、今後、騒防法、騒特法の区域設定後に速やかに実施するとのことでした。

既存防音工事の充実は、現在、騒防法の第1種区域内で行われている防音工事の内容の見直し、改善を行い、ペアガラスへの助成の見直し、世帯の人数による防音工事限度額の柔軟化、浴室・洗面所・トイレの外郭防音化を実施するもので、A滑走路側の騒防法の第1種区域内で、これから新たに防音工事を行う方、または建て替えにより防音工事助成を受ける方が対象です。開始日は10月1日で、B・C滑走路や谷間地域は、今後、騒防法の区域設定後に速やかに実施するとのことでした。

#### ●内窓設置工事等に伴う市の新規事業等

都市計画決定日後住宅空気調和機器設置工事補助事業は、現在、騒特法防止地区内で防音構造が義務付けられ成田国際空港株式会社等の防音工事の助成が受けられない住宅に、内窓設置工事の開始に合わせ、市が独自の対策として、エアコン等の設置費用の95%を補助するものです。

また、A滑走路に係る第1種区域における防音工事の施工内容の改善としてペアガラスの助成、世帯の人数による防音工事限度額の柔軟化、浴室・洗面所・トイレの外郭防音化等が行われるとのことでした。

#### ●その他

執行部から成田空港のさらなる機能強化に係る説明会等の状況、平成29年度成田国際空港周辺航空機騒音測定結果(年報)、地方版図柄入りナンバープレート、また成田国際空港株式会社から平成30年度北側脚下げ実態調査の結果、カーフューの弾力的運用の実施状況、防音工事済住宅の経年変化調査について報告がありました。

## 新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会

### 閉会中も場内事業者ヒアリングを実施し、委員会を開催、定例会では特別会計補正予算を可決

#### ●場内事業者へのヒアリング

7月2日に、新市場への移転に当たっての実情を把握するため、委員会を代表して正副委員長の2名で場内事業者へのヒアリングを実施し、施設使用料や移転支援策等についての意見・要望を伺い、その結果について委員へ報告し情報共有を図りました。

#### ●閉会中の委員会開催(7月13日)

場内事業者への移転に関するヒアリング結果と6月定例会以降の事業の進捗について調査を行いました。

#### [主な質疑]

(問)ヒアリング結果を受け、施設使用料と駐車場使用料の見直しの考えは。

(答)施設使用料は新たな料金体系を、現在は無料の駐車場使用料は県内の他市場の動向を踏まえ、検討したい。

(問)新市場整備に係る工事への市内事業者の参入についての考えは。

(答)予算規模に見合った工事発注の手法の中で検討している。

#### [9月定例会]

議案2件をいずれも可決しました。卸売市場の再整備および輸出拠点化推進事業について報告を受けました。

調整池築造工事請負契約の締結は、卸売市場の再整備で必要となる調整池の築造工事を行うものです。

また、特別会計補正予算は、継続費について卸売市場整備事業の期間と年割額を変更するもので、水産仲卸売場の希望こま数が、想定を大きく上回り、調整に時間を要したため、本体棟の完成が3カ月ほど遅れることによるものです。

#### ●その他

施設整備の進捗状況、高機能物流棟事業者募集の状況、集客施設棟事業者募集要項(案)の公表、施設使用料の考え方、新市場への移転に伴う事業者支援、日本の食品輸出EXPO(エキスポ)への出展、場内事業者の輸出拡大に向けた取り組みなどについて報告がありました。

# 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席

議案番号	件名 (件名は一部省略しています)	議決結果	政友クラブ							豪政会			公明党		リベラル		新風成田		共産党		志政会		虹								
			神崎	雨宮	湯浅	小澤	秋山	荒木	村嶋	石渡	宇都宮	海保	飯島	小山	神崎	上田	青野	一山	水上	大倉	海保	伊藤	油田	鳥海	星野	鬼澤	荒川	鶴澤	福島	平良	会津
◆議案																															
1	教育委員会教育長の任命(関川 義雄)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○
2	教育委員会委員の任命(佐藤 勲)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	人権擁護委員の推薦(三浦 節子)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	人権擁護委員の推薦(村嶋 隆美)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	成田市議会議員及び成田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	
6	成田市支所設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	欠	○	○	
7	成田市保健福祉館設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	欠	○	○	
8	成田市保育所設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	
9	地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	
10	成田市公設地方卸売市場再整備調整池築造工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	欠	○	○	×
11	市有財産の取得(消防ポンプ自動車(CD-I型))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
12	市有財産の無償貸付け(リオン不動産株式会社)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
13	市道路線の認定(松崎湯川4号線外5路線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
14	平成29年度成田市一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	欠	○	○	×
15	平成29年度成田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	欠	○	○	○
16	平成29年度成田市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	欠	○	○	○
17	平成29年度成田市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	欠	○	○	×
18	平成29年度成田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	欠	○	○	○
19	平成29年度成田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
20	平成29年度成田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	-	×	○	○	×	欠	○	○	×
21	平成29年度成田市簡易水道事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
22	平成29年度成田市水道事業会計利益の処分及び決算の認定	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	欠	○	○	○
23	平成30年度成田市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	-	×	○	○	○	○	欠	○	○	○
24	平成30年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	欠	×	○	○
◆発議案																															
1	東海第二原発の再稼働及び運転期間延長を認めないことを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	×	×	×	退	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
2	平成30年度成田市一般会計補正予算(第2号)に対する附帯決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	欠	退	退	○	退	退	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○

※議長(伊藤竹夫)は採決に加わりません。※会派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、虹=虹と緑

ここが知りたい！

# 一般質問

市政に関する一般質問は、9月4日から7日までの4日間行われ、18人の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

※一般質問とは議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。



## 成田財特法を活用した取り組みは

# 1

**問** 成田財特法<sup>(注2)</sup>は千葉県や空港周辺市町村が道路や下水道などを整備する際に、国の補助率をかさ上げするもので、今年度で期限が切れる。財特法を活用した取り組みとして幹線道路や河川の整備、成田ニュータウンの宅地造成事業などが行われているが、全体に投資された事業費は。また、今後の取り組みを伺う。

教育施設整備費が約260億円、消防施設費が約13億円、農地および農業用施設整備費が約830億円、その他鉄道や職業訓練校などの整備費が約1,350億円である。これらは、成田市と空港周辺で計画し実施されたが、都心から空港への交通網の整備を図るための広域的な事業も含まれる。また、現行法は平成30年度末が期限だが、期限の延長や法改正を引き続き要望していく。

**答** 千葉県が策定した成田国際空港周辺地域整備計画によると、計画事業費は総額約4,900億円で、道路整備費が約1,700億円、河川整備費が約340億円、上下水道や公園、ごみ焼却場等の生活環境施設整備費が約400億円、

(注2) 成田財特法…成田国際空港周辺整備のための国の財政上の特別措置に関する法律

### その他の質問

- ◆都市計画道路について
- ◆受動喫煙の防止を



平良清忠 議員

## 2 教育委員会の取り組みは

**問** 従前から行われている教育委員会会議および平成26年の教育委員会制度改革で設置された総合教育会議の現状と子どもの貧困対策への取り組みについて伺う。

**答** 教育委員会会議では、教育行政の執行機関として、教育の中立性・継続性・安定性を確保しつつ、学校教育等の充実発展に努めている。また、総合教育会議では、市長と教育委員会がさまざまな意見交換を通じて協議調整しており、設置からこれまで5回開催し、教育大綱の策定のほか児童生徒の不登校の現状などについて報告および意見交換を行っている。今

後とも、両者が教育施策の方向性を共有しながら、協議調整していきたい。また、経済的理由により就学が困難な児童生徒、またはその保護者に対する支援として、平成29年4月より、新入学児童生徒学用品費の支給額を引き上げるとともに、マイナンバー制度の活用による添付書類の削減などにより保護者の申請手続きの負担軽減を図り、入学前の3月に支給できるよう規則改正を行っている。

### その他の質問

- ◆都市計画マスタープランによる新駅構想の考え方
- ◆今後の市立小中学校適正配置統廃合の考え方
- ◆公文書管理と情報公開



水上幸彦 議員

## 3 ブロック塀および通学路等への安全対策は

雨宮真吾  
議員



**問** 成田市教育委員会では、ブロック塀の安全点検で対応すべき箇所が見つかり、早急にブロック塀の撤去や改修等を行うとのことだが、撤去および改修等のスケジュール、経費、予算措置は。また、学校施設外の危険ブロック塀の改修等について、講じている対策は。

**答** 学校のブロック塀については、6校9カ所のうち5校5カ所の撤去を終えており、残りの塀も本年度の早い時期に対応したい。改修等が必要なものは、設計に時間を要するもの等であったので、必要な予算を確保して平成31年度までに改修を行い、施設の安全を確保

していく。また、通学路等学校施設外の危険ブロック塀については、危険と思われる箇所の把握に努めると同時に、ホームページや広報なりたで、ブロック塀の安全基準や相談先を掲載し、市民に協力をお願いしている。危険と思われるブロック塀等の相談が寄せられた場合には、成田市の土木部職員が安全点検を行い、状況に応じて、所有者に点検や改善をお願いしている。

### その他の質問

- ◆学校のICT環境整備
- ◆小中学校の熱中症事故防止に対する取り組み

## PPP・PFIの取り組みは

4

鳥海直樹  
議員



**問** 昨今、全国的に地方自治体は極めて厳しい財政状況を迎えている中、成田市の財政状況は良好と言われるが、歳出の増加は全国自治体と変わらない。国はPFI事業を積極的に推進すべき人口形態を20万人以上としているが、成田市は20万人規模以上と同等の大型事業を遂行している市として、PFI事業に積極的に取り組む必要があるのではないか。PPP<sup>(注3)</sup>・PFI手法導入についての考えと、今後、どのような事業がPFI導入対象事業となるのかを伺う。

に活用するとしており、また成田市公共施設等総合管理計画では、PPP・PFIの手法を積極的に検討するとしている。成田市が今後予定している大規模事業の中には、赤坂地区の複合施設整備や玉造給食センターの再整備などがあり、これらの施設整備に当たってはPPP・PFI手法の導入も検討していきたい。

### その他の質問

- ◆PPP・PFIの庁内職員研修
- ◆ラグビーワールドカップ2019に向けて
- ◆小中学校の夏休み期間短縮

**答** 総合計画の基本施策である、効率的・効果的な行政運営では、民間活力を積極的

(注3) PPP…public private partnership 公民が連携して公共サービスの提供を行う仕組みのこと

## 5 騒音下や騒音地域に隣接している地域への対応は

青野勝行  
議員



**問** 成田市内の騒音地域では、線引きによる地域の分裂や移転により、過疎化が進む地区がある。法令は遵守すべきだが、一部の地区の孤立に対策を講じないのは、あまりにも心がない。民間活力を取り入れ、官民一体で騒音地域の存続、活性化に積極的に取り組み、過疎化防止のための地域づくりを支援すべきではないか。騒音地域や移転対象地区の地域づくりの考え、取り組みを伺う。

ることの早期実現に向け取り組んでいく。また、地域振興策として、産業振興やインフラ整備等の各種施策を盛り込んだ、成田空港周辺の地域づくりに関する基本プランが千葉県から示されており、国、千葉県、空港周辺市町、成田国際空港株式会社が一体となって、空港周辺地域の振興策に取り組んでいく。成田市としても、空港を擁するという特性を生かしながら、ブランド力のある農産物等を活用した産業振興を推進するとともに、民間企業の協力もいただき、騒音地域の活性化につなげていきたい。

**答** 騒音対策に関し、四者協議会で確認された飛行経路下における静穏時間を7時間にまで拡大することや、内窓設置区域を拡大す

## 医療と介護の連携への取り組みと課題は

6

大倉富重雄 議員

**問** 平成26年6月の医療介護総合確保推進法の成立を受け、千葉県では千葉県保健医療計画を策定しているが、成田市における、医療と介護の連携への取り組みと、連携を進める上での課題について伺う。

などであるが、成田市医師団や介護関係者と協議しながら、課題解決に向けて取り組んでいく。



介護分野では10月に西部西地域包括支援センターがオープン

**答** 平成28年度より、在宅医療・介護連携推進事業を実施しており、平成30年4月に医療介護関係者への相談窓口を備えた在宅医療・介護連携支援センターを設置している。連携を進める上での課題としては、在宅医療実施医療機関や訪問看護ステーション等の医療資源の不足や医療介護関係者間の情報共有のあり方

### その他の質問

- ◆ユニバーサルデザイン<sup>(注4)</sup>のまちづくりの取り組み
- ◆電子マネー「うなりくんWAON」にポイント付与
- ◆市民・献体火葬場使用料と今後の斎場整備計画

(注4)ユニバーサルデザイン…文化、言語、国籍の違い、老若男女といった差異、障がい・能力のいかに問わずに利用することができるように目指した施設、製品、情報などの設計のこと



## 東海第二原発は、再稼働の中止こそ最善です

7

鵜澤 治 議員



**問** 元日本原子力研究開発機構研究員で原発問題のスペシャリストである岩井孝氏講演の「東海原発を考えるつどい」に参加した。岩井氏は、新規制基準に適合しても、重大事故の可能性はあり、原発の再稼働はやめるべきだと指摘した。東海原発から80キロ圏に位置する成田地域が被災者にならないためには再稼働の中止が最善と思うが、見解は。

**答** 東海第二原子力発電所の原子炉は現在稼働停止で、11月下旬までに再稼働の条件を満たさなければ廃炉となると伺っている。日本のエネルギー政策では、原子力発電を安全性の確保を大前提に、長期的なエネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源<sup>(注5)</sup>と位置づけ、また、再生可能エネルギーは、現時点では安定供給面、コスト面で課題が存在するが、エネルギー安全保障にも寄与できる重要な低炭素の国産エネルギー源として、引き続き積極的に推進するとしている。中長期的には原子力発電への依存度は低減すると考えるが、今後の国のエネルギー政策の動向を注視していく。

### その他の質問

- ◆成田空港の飛行制限拡大、きっぱりやめて
- ◆計画地周辺住民の声が届く市残土規制条例を

(注5)ベースロード電源…季節、天候、昼夜を問わず、一定量の電力を安定的に低コストで供給できる電源

## 小中学校の特別支援学級へより充実した支援を

8

星野慎太郎 議員



**問** 特別支援学級に通う子どもの保護者から、養護補助員の増員を求める声が届いている。平成29年は養護補助員がクラスに1名配置されていたが、今年は配置されておらず、子どもは先生に声をかけづらくなり、不安な様子で、親から見ても担任の先生だけではサポートしきれないと感じているとのこと。また、学校側からは、児童生徒の情緒の安定、安全確保、学習の個別支援などから、特別支援教育支援員を増員していただきたいという声も受けている。児童生徒の成長をよりしっかりとサポートするために、養護補助員と特別支援教育支援員、それぞれの増員について要望するが、考えを伺う。

**答** 養護補助員および特別支援教育支援員の増員については、今後も児童生徒の実態とニーズの状況を踏まえ、必要に応じて適切に対応していく。



### その他の質問

- ◆JR成田駅の利便性の向上
- ◆JR成田駅参道口の駅前有効活用
- ◆京成成田駅参道口の今後の再開発は

# 9

## 公共施設における農薬使用は



会津素子  
議員

**問** 佐倉市では、市有施設における農薬、殺虫剤等の薬剤使用に関する基本指針が定められている。さらにこの基本指針を周知させるため、研修を実施することが明記されており、各施設の代表者が集まって、農薬に関する研修や情報交換を行うという機会を設けている。成田市においても同じような取り組みが必要なのではないか。

**答** 国からの「住宅地等における農薬使用について」という通知では、地方公共団体の施設管理部局の担当者は、通知の周知徹底を目的とした研修に定期的に参加することが取り組み事例として掲げられている。まずはこうした農薬の安全使用に関する研修に参加していきたいと考えており、参加して得た知識、あるいは取り組むべき事項等を市有施設の所管課が情報共有できる機会を設けることを検討していく。

### その他の質問

- ◆水田における農薬空中散布の効果は検証しているのか
- ◆学校給食に有機米の導入を

# 11

## 米の生産調整の効果と飼料用米の出荷設備への助成を

**問** 米の生産調整の効果についてどのように捉えているのか、また飼料用米の出荷体制の簡素化を図るため、フレコンバッグ<sup>(注6)</sup>による出荷が主流となるが、出荷設備への助成について、見解を伺う。

**答** 米の生産調整の効果としては、米の過剰生産や在庫が削減されることから、米価の安定化につながると考えている。また、主食用以外の加工用米や飼料用米の生産取り組みに対しては、国、県および市の助成金が受けられることから、確実な収入が確保でき、安定した農業経営が可能となると認識している。フレコ

ンバッグ出荷に対応する施設設備への支援については、農家の負担軽減を図るため、千葉県の飼料用米・加工用米等流通加速化事業を活用して支援を行っている。



### その他の質問

- ◆診療を再開した国保大栄診療所の今後の運営方針



福島浩一  
議員

(注6)フレコンバッグ…フレキシブルコンテナバッグの略称。粉末や粒状物の荷物を保管・運搬するための袋状の包材のこと

# 12 避難所運営委員会の設立状況は

小山  
昭議員



**問** 成田市は災害時における指定避難所の開設および運営を行うため、避難所運営委員会の設置を進めているが、現在の設立状況について伺う。

**答** 災害時において、指定避難所を利用する地域住民が主体的に避難所の開設および運営を円滑に行うことができるよう、避難所運営委員会の設立を進めており、現在、避難所運営委員会の設立状況は、市内52カ所の指定避難所のうち9組織、10避難所で設立され、組織率は19.2%である。自助・共助による取り組みは重要であることから、区・自治会等への啓

発を通じて、地域防災力の向上を図り、全ての指定避難所に避難所運営委員会を設立できるよう取り組んでいく。



### その他の質問

- ◆高齢者の移動対策
- ◆地震・豪雨災害の対応
- ◆急傾斜地崩壊対策事業および崖地整備費補助事業について

# 高齢者の住みやすいまちづくりを

# 13

**問** 高齢者への買い物支援対策について、介護予防・日常生活支援総合事業を活用できないか。

**答** 制度上、高齢者の買い物の支援を介護予防・日常生活支援総合事業に位置付けて



元気に健康で百歳体操(本三里塚区宮下)

行うことは可能である。現在、介護保険の要支援者などを対象にした買い物や掃除、調理等の

生活支援サービスに加えて、成田市が独自に養成した成田市認定ヘルパーが買い物支援を提供する基準緩和型訪問サービスを実施している。ヘルパー養成研修の修了者の多くは元気な高齢者で、今後の高齢者の生きがいの創出や社会参加を含めた地域の支え合いの体制づくりを進め、今後実施するアンケート調査で実態を明らかにし、高齢者のニーズに応じたサービスの構築を検討する。

### その他の質問

- ◆いきいき百歳体操の現在の活動と目標は
- ◆防災対策で学校施設のブロック塀の調査を
- ◆騒音による新たな移転対象住民への対応は

鬼澤雅弘  
議員



# 14 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保を

一山貴志  
議員



**問** 6月に発生した大阪府北部地震により、通学途中の女子児童が亡くなる事故が発生した。これを受け、学校施設や通学路の安全確保の観点から、ブロック塀の撤去費用を補助する自治体が増えており、成田市においても補助事業を行うべきと考えるが、見解を伺う。

**答** ブロック塀の撤去等の助成制度については、千葉県内でも、安全診断や撤去費用に対して助成制度を設けている自治体があるが、築造された時期や形態等がさまざまであることから、撤去費用等への補助や助成制度の公平性については、慎重に検証する必要がある。

今後、他自治体の助成制度の背景や内容などを調査していく。



### その他の質問

- ◆運動施設や公園における熱中症対策
- ◆学校防災マニュアル

# 15 落下物対策総合パッケージは防止対策となるのか

海保茂喜議員



**問** 落下物対策総合パッケージは、機体の改修といったハード面のほか、整備・点検や落下物があった場合の原因究明・再発防止の検討体制といったソフト面の両面から、航空会社に基準に基づいた対策を義務付けることになるが、安心安全が見える防止対策となるのか。

**答** 航空機からの落下物については、未然防止策こそが重要だと認識している。落下物対策総合パッケージにおける対策等は、有識者、国、航空事業者、空港管理者、航空機メーカー、その他の関係者が一丸となり、検討した内容であることから、より一層落下物対策の情

報共有が図られると期待しており、今後は、このパッケージにより、落下物対策がより一層進むと考えている。



航空機から落下した部品

### その他の質問

- ◆住民感覚に沿った航空機騒音の影響から、夜間飛行制限の緩和をすべきでは
- ◆法制定の目的と趣旨に基づく成田財特法の継続
- ◆清掃工場から始めるエネルギーの地産地消と付帯施設の展望は

# LGBTなど性的マイノリティの子どもへの配慮を

16

**問** LGBT<sup>(注7)</sup>など性的マイノリティは、人権問題として当事者への偏見、差別をなくすこと、また当事者であるなしにかかわらず、分け隔てなく生活ができるよう対策が必要である。日本学術会議の「性的マイノリティの権利保障を目指して」という提言では、性同一性障害者のほとんどが小学校入学以前に性別違和感を自覚し始めているとのこと。周りに自分の将来を想像できる人がいないことで、子どもたちは強く悩む。また、学校生活では男女どちらのトイレも入れないことや制服が着れないという問題を抱えている。学校での性的マイノリティの子どもへの具体的な対応は。

**答** 性同一性障害をはじめとする性的マイノリティの児童生徒に対しては、学校生活のさまざまな場面で悩みや不安等に十分配慮しながら対応している。制服や体操着の着用については、児童生徒や保護者の意向を尊重し、柔軟な対応に努めている。トイレについては、大多数の学校で多目的トイレが設置されており、安心して学校生活が送れるよう、希望するトイレの場所や使用時間に配慮している。

### その他の質問

- ◆通学路などのブロック塀対策への補助を
- ◆災害時のエレベーターの閉じ込め対策について
- ◆家具の転倒防止対策への助成制度創設を



荒川さくら議員

(注7) LGBT…レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとり、性的少数者の一部の人々を指した総称

# 17 在住外国人と共生していくための指針づくりを

宇都宮高明議員



**問** 政府は、外国人労働者の拡大に向けて平成31年4月より、新たな在留資格の運用開始を決めた。現在は在留する外国人の言語習得や、国・地方自治体の責務を定めた法律はないが、日本最大の国際空港を有する市として、法律を待つことはできない。成田空港の機能強化が決定されて、市内在住外国人の増加が予測されるとき、埼玉県川口市の「多文化共生指針」のような共生指針の策定が必要ではないか。

**答** 成田市に住む外国人は、人口の3.8%を占め増加傾向にあり、言語や文化、生活習慣の異なる方々との共生は、重要だと認識してい

る。外国人相談、日本語教育補助員の配置、国際市民フェスティバルの開催、友好姉妹都市とのホームステイやサッカー交流などを通じて、理解が深まるよう努めている。成田市で共生指針などを策定する予定はないが、個々の課題への対処や、国際交流イベントなどを通じて外国人と共生できる地域づくりを進めていく。

### その他の質問

- ◆医学部開学、付属病院開院を核とした医療産業集積の戦略を
- ◆第3滑走路供用時まで、成田空港手前の鉄道単線区間の複線化を
- ◆成田ニュータウン再生へ、UR都市機構等と団地再生共同事業体の設立を

# 18 教職員の多忙化解消に向けて

油田 清 議員



**問** 教職員が疲れ切り、子どもたちと向き合う時間も少なくは、よい教育はできない。中教審緊急提言では、教職員の長時間勤務の実態が看過できない状況で、学校における働き方改革を早急に進める必要があると指摘している。千葉県では、6月に市町村立学校の教職員の勤務実態を調査したが、現状は。また、学校閉庁日の設定や勤務時間外の連絡体制の整備が示されているが、取り組みの状況は。

**答** 千葉県教育委員会が6月に実施した勤務実態の状況調査結果では、教職員の平均在校時間は、平日は小学校で11時間42分、中

学校で11時間47分、休日は小学校で2時間49分、中学校で2時間56分、1カ月の超過勤務が80時間を超える割合は、小学校で34.5パーセント、中学校で35.7パーセントである。また、成田市では、8月13日から17日の5日間を学校閉庁日とし、教職員が前後の週休日と合わせ9日間連続した休暇を取るのを可能にし、学校への緊急の連絡は、教育委員会が対応すると周知した。この期間の問い合わせは、転出入に関することの1件だけだった。

### その他の質問

- ◆子ども食堂との連携
- ◆地域公共交通網形成計画の策定

## 議員研修会を開催

成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

8月29日には、「議員の権限と義務、議員の「思い」を実現するために」をテーマに、新潟県立大学国際地域学部准教授の田口一博氏たぐちかずひろを迎えて開催しました。



## 中学生議会を開催

8月20日に中学生議会が開催されました。中学生に市議会について体験的に学んでもらうことで、市政への関心を深めてもらうことを目的として開かれるものです。市内中学校11校から代表24名が出席し、模擬議長選挙の実施や市政について中学生の視点で「うなりくんの有効活用」などのさまざまな質問や意見が出されました。



マチイロ



マチイロQRコード

### 市議会だよりがアプリ「マチイロ」でご覧いただけます

マチイロは、自治体が発行する広報紙やホームページの新着情報をスマートフォンやタブレットで読むことができるアプリです。

# 特別委員会って何？

特別委員会は、議会が特に必要があると認めた事件を審査するために、その都度設置される委員会です。常任委員会と異なり、常設的な機関ではなく、案件がなくなれば特別委員会もなくなります。現在、成田市議会には、空港対策特別委員会と新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会の2つの特別委員会が設置されています。



## 空港対策特別委員会

国における首都圏空港のさらなる機能強化に向けた検討や、空港容量拡大による騒音対策および落下物対策、地域振興策など、さまざまな問題が山積する中で、空港と共存共栄を図り、市民がよりよい生活を送れるよう、空港に関する諸課題について調査を行っています。

### 【最近の活動】

9月11日に開催された委員会後、西大須賀地先に新たに整備された内窓効果体験住宅の視察を実施しました。

また、10月2日から4日にかけて実施した行政視察では、中部国際空港、県営名古屋空港、伊丹空港にそれぞれ地域振興策・騒音対策等について視察を実施しました。



内窓効果体験住宅の視察



中部国際空港を視察

## 新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会



新市場への移転に関するヒアリング



公設市場移転予定地を視察

新市場は平成32年度の開場が予定されていますが、今後の施設整備等に多額の財政負担が見込まれるとともに、施設の整備や運営の手法、輸出拠点化に向けた取り組みなど、さまざまな課題があると考えられることから、新市場の整備や輸出拠点化事業の推進に当たっての諸課題について調査・検討を行っています。

### 【最近の活動】

7月2日に場内事業者への移転に関するヒアリングを行いました。

また、9月10日に開催された委員会後、新市場整備用地の視察を実施しました。

# 議会報告会を開催します

成田市議会では、議会の活性化と市民に開かれた議会の実現のため、議会報告会を下記のとおり開催いたします。この報告会では、定例会における審議の内容や過程の説明ほか、参加者との意見交換などを予定しております。多くの皆さまのご来場をお待ちしておりますので、ぜひご参加ください。

開催日	時間	会場	意見交換のテーマ
平成30年 11月3日(土)	午前10時～12時	もりんぴあこうづ 2階 MORI×MORIホール	子育てについて
	午後2時～4時	成田市役所 行政棟1階 市民ロビー	防災について

※参加を希望される方は当日直接会場へお越しください。各会場とも駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

※[午後の部 市役所会場について]

議会報告会当日の11月3日(土)は、庁舎改修工事に伴い照明・空調等の使用制限があるため、ご不便をおかけすることになりますが、あらかじめご了承くださいませよう願いたします。

※詳しくはホームページをご覧ください。



## 市議会だよりが「ちいき本棚」で ご覧いただけます。

市議会だよりが「ちいき本棚」でもご覧いただけるようになりました。

[パソコン]で読む

「ちいき本棚」を検索するか、

[<http://cccc.backshelf.jp/>]にアクセス

[スマートフォン・タブレット端末]で読む

①無料アプリ「Side Books」をインストール

②Side Booksの「本棚切り替え」で「ちいき本棚」を選択します。

市議会だより88号よりご覧いただけます。

「ちいき本棚」とは：全国の市町村の、個性あふれる「ちいき」の情報をひとつの本棚でシェアする電子書庫です。日本全国の広報紙や議会だより、観光ガイドなどを、無料で読むことができます。



## コーヒータイム



この秋は天災が集中して発生しているようです。20号に続いて大型の台風21号も近畿地方に上陸し関西地方一帯に大きな被害をもたらし、また、震度7という激震が北海道を襲いました。被災地の速やかな復旧を願うばかりです。秋も深まった候とはいえ、まだ野分(台風)の季節でもあります。その上陸地点の地名に雑学的に想いを馳せてみると、近畿地方の近畿は、「畿(都)に近いところ」から呼称され、関西地方は、要害堅固の関門、中国の函谷関を箱根の山に置き換えて、それ以西を関西、東側を関東にしたとされています。

これ以上の野分のわが国訪問を固辞しつつ…

吹き飛ばす 石は浅間の 野分かな

芭蕉(更科紀行)

広報広聴委員 雨宮真吾

12月定例会は、**11月22日(木)** 開会予定です。

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760

TEL 0476 (20) 1570

FAX 0476 (24) 0336

成田市議会

検索